

十一月二十九日

土 晴

午前九時池田季雄氏來訪面談  
 十時出勤侍從長千時局ニツキ懇談  
 府へ九時半ヨリ官中ニ於テ訪米交渉  
 ヲ中心トスル時局問題ニツキ重臣ト  
 懇談終リテ御陪食ヲ仰付コトトナリ  
 居リシガ遂ニ一時ニ及ビ漸ク一時休  
 憩シ御陪食ニ列スルト云フ有様ニテ  
 熱心ニ質疑應答ガ行ハレタル模様ナ  
 リ御陪食後二時ヨリ約一時間御學問  
 所ニ於テ陛下親シク重臣ノ意見ヲ御  
 聽取被達タリ其概長左ノ如シ  
 陛下ヨリ大變遷シイ時代ニナツタホ  
 トノ御言葉アリ若槻男直ニ之ニ奉答  
 シ大要左ノ如ク述ブ  
 活仏一我國民ハ精神カニ於テハ必配  
 ナキモ物資ノ方面ニ於テ呆シテ長期  
 戦ニ達ヘ得ルヤ否ヤ慎重ニ研究スル  
 ノ要アリ午前中政府ノ説明モアリタ  
 ルカ之ヲ心配ス  
 岡田一今日ハ眞ニ非常ノ事態ニ直面  
 セルモノト思フ物資ノ補給能力ニツ  
 キ充分成算アリヤ否ダ心配ナリ先刻

Dec 1632 W (86)

Ex 1196

1.

Doc 1632 W (86)

Doc 1632 W (86)

米政府ノ説明アリタルモ未ダ納得ス  
ルニ至ラズ  
平沼一若槻閣下ヨリ我國民ノ精神力  
ニツイテ御話ガアリマシタガ私モ其  
ノ結同感デアリマス只既ニ四年ノ戦  
争ヲ遂行シテ居リマス今日更ニ長期  
ノ戦トナレバ困苦缺乏ニ達ヘナケレ  
バナリマセンノデ民心ヲ引續テ行キ  
マス結ニツイテハ充分ノ施策ト努力  
ガ必要ト存シマス  
近頃一四月以來自分ハ日米國交關係  
ニ努力シ來リタルガ遂ニ其ノ成果ヲ  
擧グルコトヲ得ザリシハ誠ニ遺憾ト  
スルトコロナルガ現内閣モ亦熱心ニ  
此ノ目的ノ達成ニ努力セラレ居ルハ  
慰勞スルトコロデアル、午前中政府  
ノ説明ニヨリ乍遺憾外交々渉ノ細  
ハ此上見込ナシト判スルノ外ナキ  
ガ外交々渉決裂スルモ直ニ戦争ニ訴  
フルヲ畏ルヤ、此ノ位ノ状態ニテ  
臥薪嘗膽ノ状態ニテ進歩スル中文訂  
約ノ進ヲ見出スニアラザルカトモ思  
ヘレ此ノ間尙後刻當局ニ質シタイト

Doc 1632 W (86)

3.

思ッテ居リマス

米内一資料ヲ持テマセンノデ具体的  
ノ意見ハ申上ラレマセンガ俗語ヲ使  
イマシテ恐入リマスガデリ貧ヲ避ケ  
ントシテドカ貧ニナラナイ様ニ充分  
ノ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス

廣田一世界大戦後ノ各國ノ狀勢ヲ通  
ベ又那事變ニツイテモ英米ノ介入ヲ  
極力避クル方針ヲ以テ臨ミタルガ遂  
ニ今日ノ様ナ狀況トナレリ政府ノ説  
明ニヨレバ今日ハ外交上ノ危機ニ立  
テル様ニ思ヘル、ガ之ハ所謂戰後ト  
ノ關係モアルトコロ由來外交談判ノ  
危機ハ二度三度繰返シテ始メテ双方  
ノ眞意ガ判ルモノト思フ今回危機ニ  
直面シテ直ニ戦争ニ突入スルハ如何  
ナモノニヤ假ニ不待止トスルモ假令  
打テ合ヒタル後ト雖モ常ニ細心ノ注  
意ヲ以テ機會ヲ捉ヘテ外交々渉ニテ  
解決ノ途ヲトルベキナリト思フ

林一資料ヲ持タザルカ大體政府カ大  
本營ト充分協力研究セラレタル結白  
ニ信願スル外ナシト思フ

Doc 1632W(86)

4.

阿部一政府ノ説明ニヨレバ外交々渉  
ノ進展ハ困難ナルベク今ヤ眞ニ重大  
ナル困難ニ立テルモノト思フ政府ハ  
非常ニ周密ニアラユル角度ヨリ研究  
セラレタル様ニ思ハレ是以上ノコト  
ハ望メスト思フ只支那人心ノ動向ニ  
ツイテハ慎重ニ討議セラル、コトヲ  
憂スベク一度誤ラバ今日迄得タル成  
果ヲモ失フニ至ル虞アリト思フ  
若し今日ハ眞ニ重大ナル時機ニ到  
達セルモノト思フ爰ニ一言申上タキ  
ハ帝國ノ自存自衛ノ必長トアレバ侵  
略敗戦ヲ諒見シ得ル場合ト雖モ國ヲ  
焦上トナシテモ立タナケレバナリマ  
センガ只理想ヲ指イテ國策ヲ御進メ  
ニナルコト伺ヘバ大東亞共榮圈ノ確  
立トカ東亞ノ安定勢力トカノ理想ニ  
トラハレテ國力ヲ使ハル、コトハ誠  
ニ危惧デアリマスカラ之ハ御考ヘラ  
願ハナケレバナラナイト存シマス  
四時重臣ヘノ政府ノ説明終リタル由  
ニテ近衛公來賓對米問題ヲ中心ニ進  
々懸談ス午後七時賓客官邸ニ伺候使  
大垣城下正装移精ノ儀ニツキ拜禮ス